

企業外労働衛生機関の保健師の保健活動に関する研究 ～メンタルヘルスケア不調の一次予防対策における現状と課題～

研究期間 平成 29 年度

研究代表者名 竹口 和江

共同研究者名

1. 研究の目的

産業ストレスの対策として、メンタルヘルス不調の一次予防対策は特に重要であると言われており、中小企業の外部専門機関として企業外労働衛生機関の活用が促されている。しかし、企業外労働衛生機関の産業保健活動の内容や役割は各機関によって様々で、産業看護の視点をもった専門性が高い保健活動が必ずしも行われていない。また、企業外労働衛生機関の保健師のメンタルヘルス不調の一次予防対策における活動の実態調査や専門性の高い活動を行うために必要な技術やケア提供体制に着目した研究は行われていない。現状や必要な技術が明らかになることで、メンタルヘルス不調の一次予防対策における企業外労働衛生機関の産業保健活動における教育的課題や保健活動を行う上で必要な支援を検討することができると思われる。そこで、本研究では、メンタルヘルス不調の一次予防対策における企業外労働衛生機関の産業保健活動の現状と課題を明らかにすることを目的とする。

2. 研究内容と研究成果

福岡県・熊本県の企業外労働衛生機関の保健師 6 名に半構成的面接聞き取り調査を行い、質的に分析を行っているところである。今後、得られた結果を基に、全国規模の質問紙調査を行い、メンタルヘルス活動一次予防のための活動に必要な支援体制を構築するための要因を明らかにする予定である。